

文献&ウェブサイト

探究学習の各プロセスで
役立つ書籍やウェブサイトをまとめました。
ぜひご活用ください!

課題設定

探究ナビ期間限定教材
Social issue 資料集 SDGs「子どもの貧困」
<https://www.benesse.co.jp/onigiri-action>



ベネッセの「探究ナビ」では、期間限定教材として、探究サイクルを続けながら社会課題の解決に取り組むTABLE FOR TWOのメンバー2人へのインタビュー記事を掲載した課題設定ワークを作成。

© 2019 年度、ベネッセコーポレーションは、世界の食料問題解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International が実施する「おにぎりアクション2019」の活動に協賛いたします。「おにぎりアクション2019」とは、おにぎりの写真を1枚投稿すると、協賛企業から給食5食分に相当する100円がアフリカ・アジアに寄付される活動のこと。おにぎりアクションアンバサダー校は、北海道・私立海星学院高校、京都府・私立京都学園中学校・高校、兵庫県・私立神戸山手女子中学校・高校。

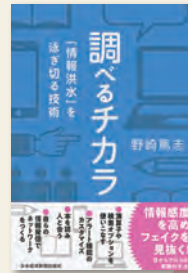
『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』
Think the Earth 編著、蟹江憲史監修、紀伊國屋書店 (2018)



SDGsについて楽しく学べるビジュアルブック。インフォグラフィックや写真、マンガなど様々な表現方法でSDGsの情報やメッセージを伝えている。世界や国内の事例も豊富で、アイデアにこだわった紹介がされている。

情報収集

『調べるチカラ 「情報洪水」を泳ぎ切る技術』
野崎篤志著、日本経済新聞出版社 (2018)



ほしい情報をいかに効率的・効果的に見つけ出すか。リサーチのプロが誰にでもできる実践手法を紹介した一冊。

整理・分析

高校生向けの統計サイト
なるほど統計学園高等部
<https://www.stat.go.jp/koukou/>



事例を通して、統計データの作成方法や分析の手法を学ぶことができるウェブサイト。主要な統計データも検索できる。総務省統計局が運営。

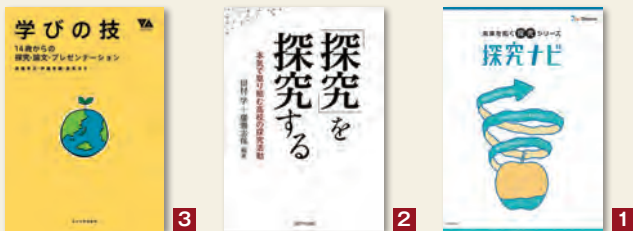
日本最大の図書館検索蔵書サイト カーリル
<https://calil.jp>



全国7,000以上の図書館からリアルタイムで蔵書を検索できるウェブサイト。株式会社カーリルが運営。

付録 探究学習お役立ち

探究学習全般



- 1 『探究ナビ』**
ベネッセの教材の1つで、探究を進めていく上で必要な考え方や学び方のワザとコツが分かる教材。
- 2 『『探究』を探究する 本気で取り組む高校の探究活動』**
(田村学・廣瀬志保編著、学事出版、2017)
高校が取り組む探究学習の基本的な考え方と、全国17の高校の実践例を紹介。
- 3 『学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』**
(後藤芳文・伊藤史織・登本洋子著、玉川大学出版部、2014)
研究テーマの決め方から情報収集の方法、マインドマップや探究マップなどのツールを活用した論文の書き方、プレゼンテーションの工夫までを紹介。

WWL・SGH × 探究甲子園
開催日：2020年3月21日 場所：関西学院大学
<http://tankyu-koshien.jp>



WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業とSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業などの指定校が、探究学習の成果を発表するイベント。見学自由。

『VIEW21』高校版バックナンバー

2016年10月号 特集 P.4～9
問題解決的な「探究学習」が
これからの時代を生きる力を育む
関西大学総合情報学部教授 黒上晴夫

2018年8月号 特集 P.8～13
探究学習における課題設定力を育むために
—日々の授業で私たちができること—
大阪大学 全学教育推進機構 准教授 佐藤浩章
宮城県仙台第三高校 滝井隆太
長崎県・私立純心中学校・純心女子高校 植本六秀

2019年6月号 改良! 指導ツール ピフォーアフター P.42～45
探究学習指導・共有シート
* プロフィールは取材時のものです。

まとめ・表現

伝わるデザイン
高校生のための研究発表の手引き
<https://student.tsutawarudesign.com>



発表の構成や組み立て方、見やすい発表資料にするためのデザインなど、高校生が研究発表の準備をするためのノウハウを紹介するウェブサイト。「オフィス伝わる」が運営。

全国高校生マイプロジェクトアワード
開催日：2020年1～3月 場所：全国各地
<https://myprojects.jp/>



探究学習・マイプロジェクトに取り組んだ全国の高校生を対象に行われる学びの祭典。地域や学校、子どもや大人といった枠を超えて参加者が学び合う。全国大会最終日には文部科学大臣賞を授与。